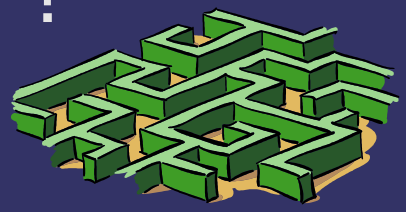
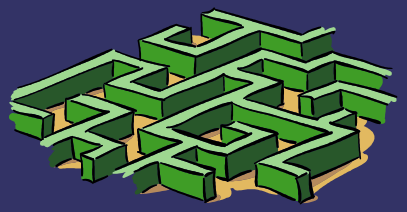
最初に
toRuby 4th

- とちぎRuby勉強会
- 4thは6/23、西那須野公民館
- 東京より豪華ゲストが
- レギュラー陣もあつい
- Rubyにお熱の平鍋さんいかがですか？

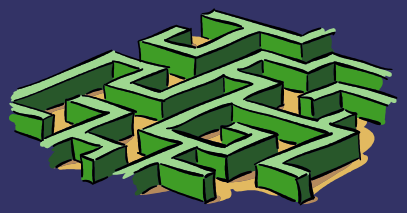


情報ストリームマップ(仮)

渋川よしき

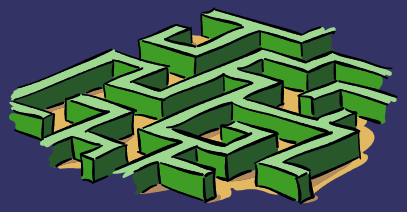


改めまして

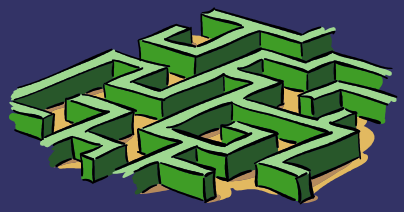


リソースのフローを書いてみよう

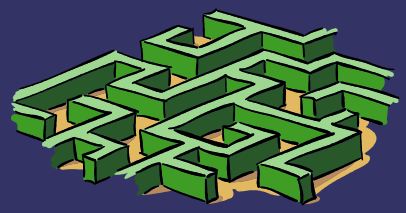
渋川よしき



今日はまずは小ネタから



GTD+M

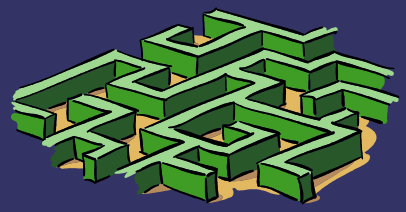


GTD+Mとは何か？

GTD+MのMは

カードは に印刷して

が高かったので・・・

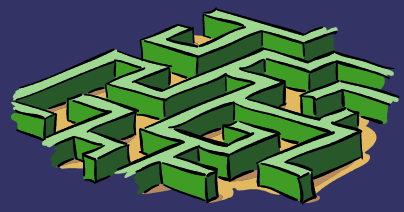


GTD+Mとは何か？

GTD+MのMはマインドマップ

カードは　　に印刷して　　

　　が高かったので・・・

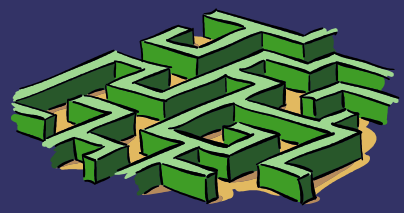


GTD+Mとは何か？

GTD+MのMはマインドマップ

カードは裏紙に印刷して

が高かったので・・・

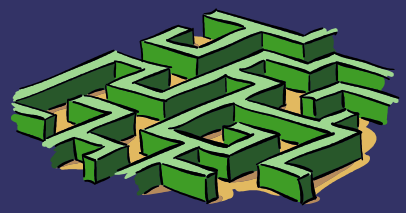


GTD+Mとは何か？

GTD+MのMはマインドマップ

カードは裏紙に印刷して裁断機

[redacted]が高かったので・・・

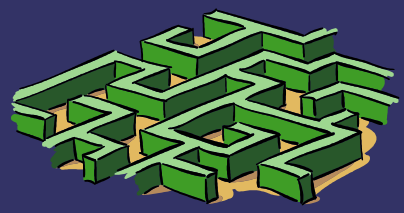


GTD+Mとは何か？

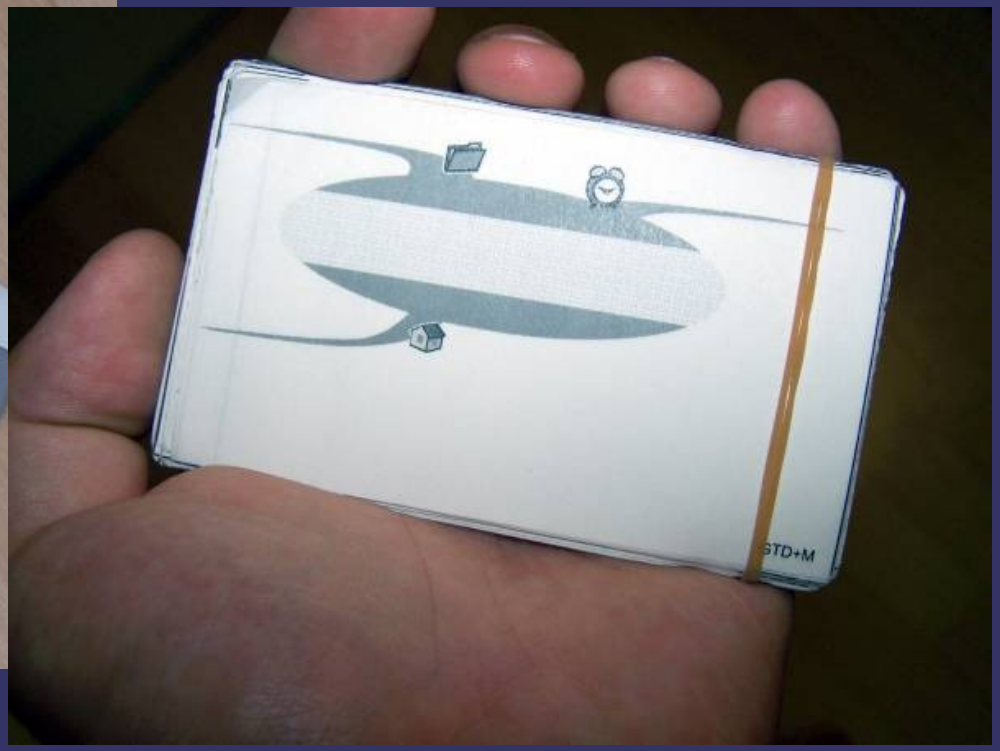
GTD+MのMはマインドマップ

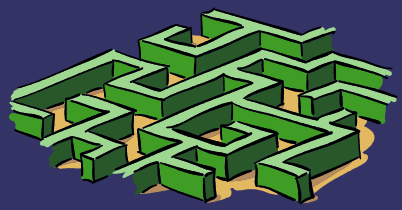
カードは裏紙に印刷して裁断機

ロディアが高かったので・・・

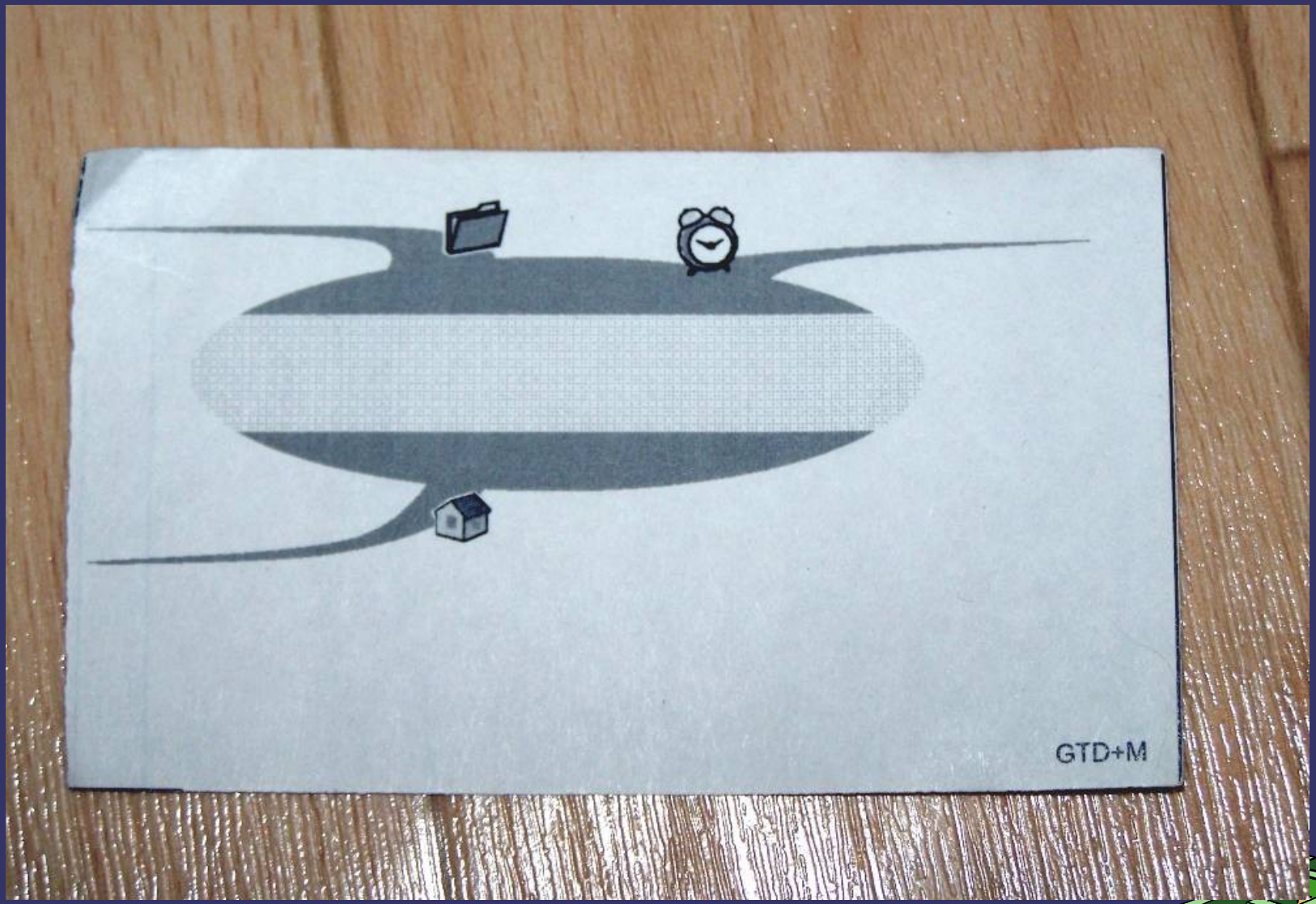


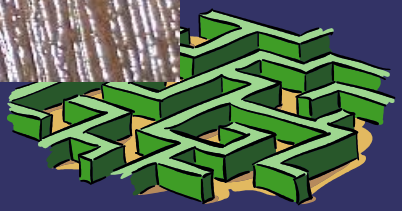
使うものはGTD+Rとほぼ一緒



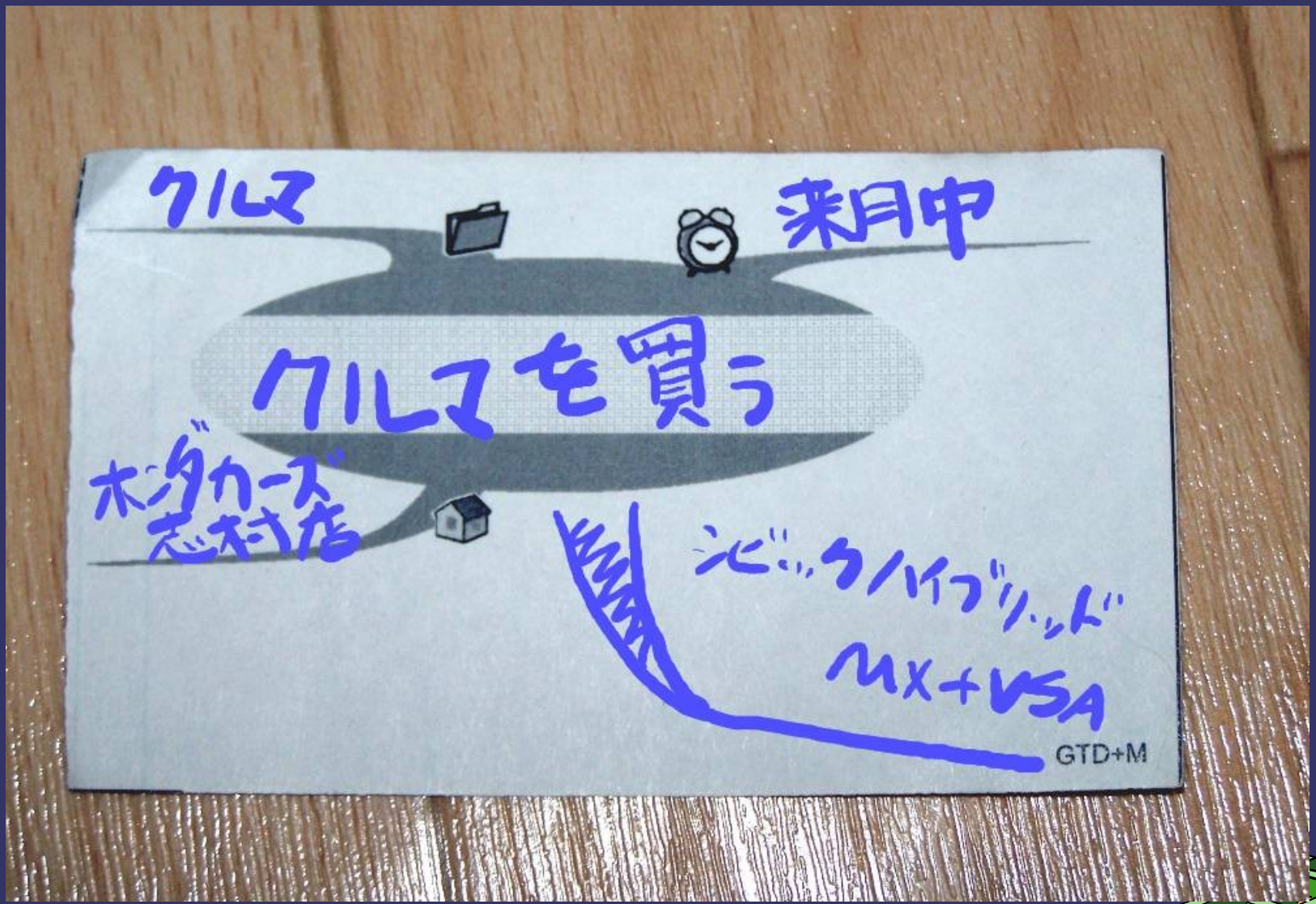


これがカード

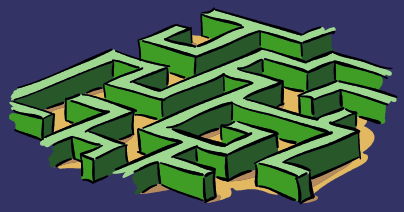




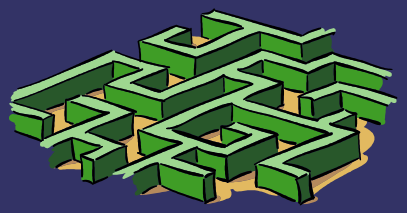
こういう風に使います



ミニトークス終了

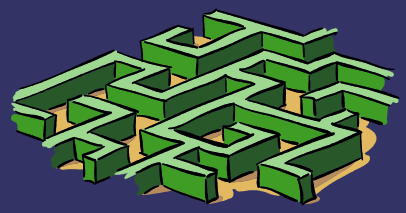


（本題）
リソースのフローを
書いてみよう



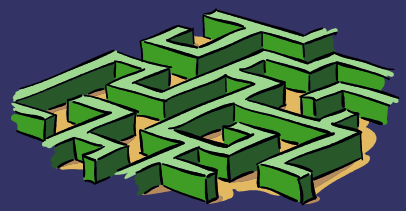
ライトニングトークスでは
大事なことは最初に言う

最初に
モデリングすべきは
リソースのフロー



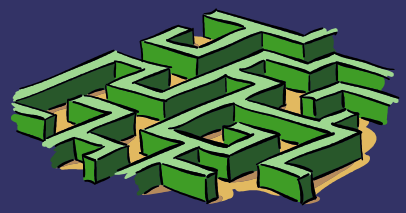
仮説：*UML*はモデリングで使えない

- UMLはフロントヘビーなので、分析段階では使いにくい
- CRCカードやマインドマップも使ってみたが・・・
  - フローの記述には向かない?

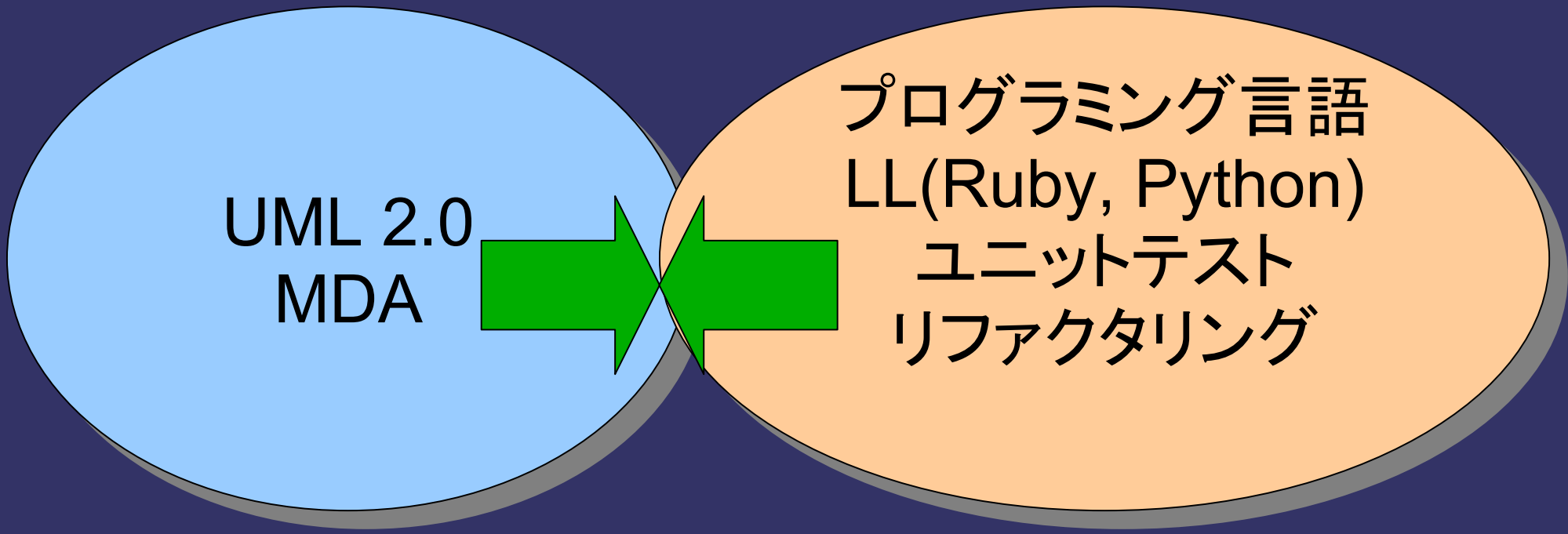


仮説：*UML*はモデリングで使えない

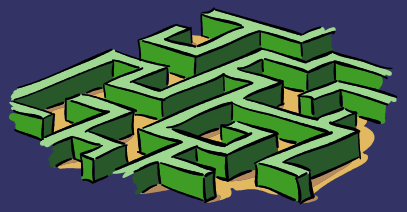
- UMLの図の要素ってJavaとかと近い→使う脳みそ一緒
- 結局プログラマのためだけの図の域は超えていない気がする
  - UMLの矢印は関数呼び出し



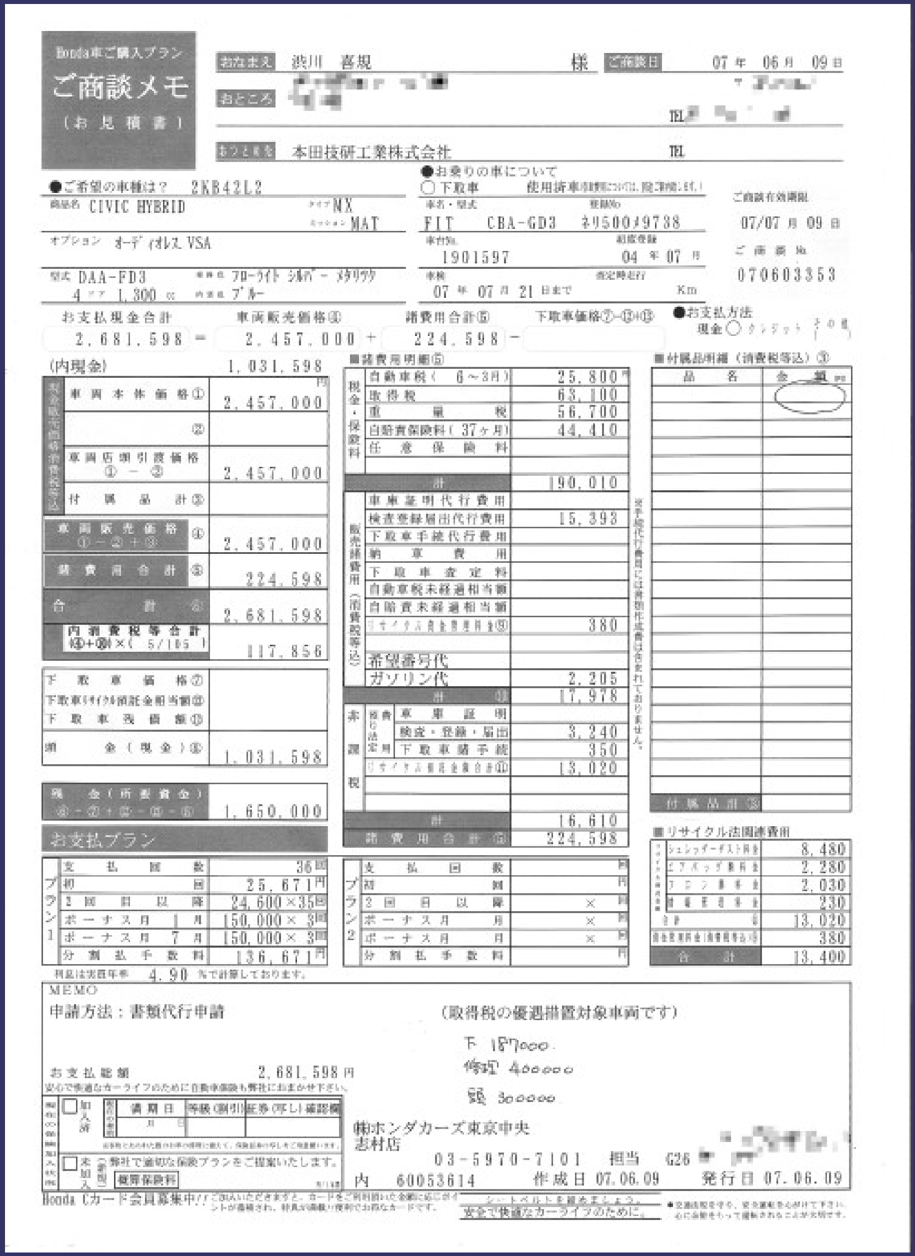
UMLとプログラムは オーバーラップしてきている



同じマーケットを奪い合う 状態になるのでは？



例：*Civic Hybrid*の見積書



Honda車ご購入プラン
ご商談メモ
（お見積書）

おなまえ 渋川 喜規 様　ご商談日 07年 06月 09日
おところ
TEL
おつとめ先 本田技研工業株式会社 TEL

●ご希望の車種は？ 2KB42L2
商品名 CIVIC HYBRID　タイプ MX　ミッション MAT
オプション オーディオレス VSA
型式 DAA-FD3　車体色 フローライト シルバー・メタリック
4ドア 1,300cc　内装色 ブルー

●お乗りの車について
○下取車　使用済車
車名・型式 FIT CBA-GD3　登録No. ネリ500メ9738
車台No. 1901597　初度登録 04年 07月
車検 07年 07月 21日まで　走行距離 Km

ご商談有効期限 07/07月 09日
ご商談No. 070603353

お支払現金合計		車両販売価格④		諸費用合計⑤		下取車価格⑦-⑫+⑬
2,681,598	=	2,457,000	+	224,598	−	

●お支払方法 現金○ クレジット その他

(内現金) 1,031,598

車両本体価格①	2,457,000
②	
車両店頭引渡価格 ①−②	2,457,000
付属品計③	
車両販売価格 ①−②+③ ④	2,457,000
諸費用合計⑤	224,598
合計⑥	2,681,598
内消費税等合計 (④+⑩)×(5/105)	117,856
下取車価格⑦	
下取車リサイクル預託金相当額⑫	
下取車残債額⑬	
頭金（現金）⑧	1,031,598
残金（所要資金） ⑥−⑦+⑫−⑬−⑧	1,650,000

■諸費用明細⑤

税金・保険料	自動車税（6〜3月）	25,800
	取得税	63,100
	重量税	56,700
	自賠責保険料（37ヶ月）	44,410
	任意保険料	
	計	190,010
販売諸費用（消費税等込）	車庫証明代行費用	
	検査登録届出代行費用	15,393
	下取車手続代行費用	
	納車費用	
	下取車査定料	
	自動車税未経過相当額	
	自賠責未経過相当額	
	リサイクル資金管理料金⑨	380
	希望番号代	
	ガソリン代	2,205
	計⑩	17,978
非課税	車庫証明	
	検査・登録・届出	3,240
	下取車諸手続	350
	リサイクル預託金相当額⑪	13,020
	計	16,610
	諸費用合計⑤	224,598

■付属品明細（消費税等込）③

品名	金額
付属品計③	

■リサイクル法関連費用

シュレッダーダスト料金	8,480
エアバッグ類料金	2,280
フロン類料金	2,030
情報管理料金	230
合計	13,020
資金管理料金	380
合計	13,400

お支払プラン

プラン1	
支払回数	36回
初回	25,671円
2回目以降	24,600×35回
ボーナス月 1月	150,000×3回
ボーナス月 7月	150,000×3回
分割払手数料	136,671円

プラン2	
支払回数	回
初回	円
2回目以降	× 回
ボーナス月 月	× 回
ボーナス月 月	× 回
分割払手数料	円

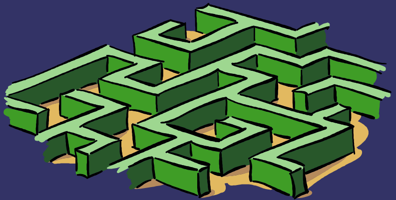
利息は実質年率 4.90 %で計算しております。

MEMO
申請方法：書類代行申請
（取得税の優遇措置対象車両です）
下 187000
修理 400000
頭 300000

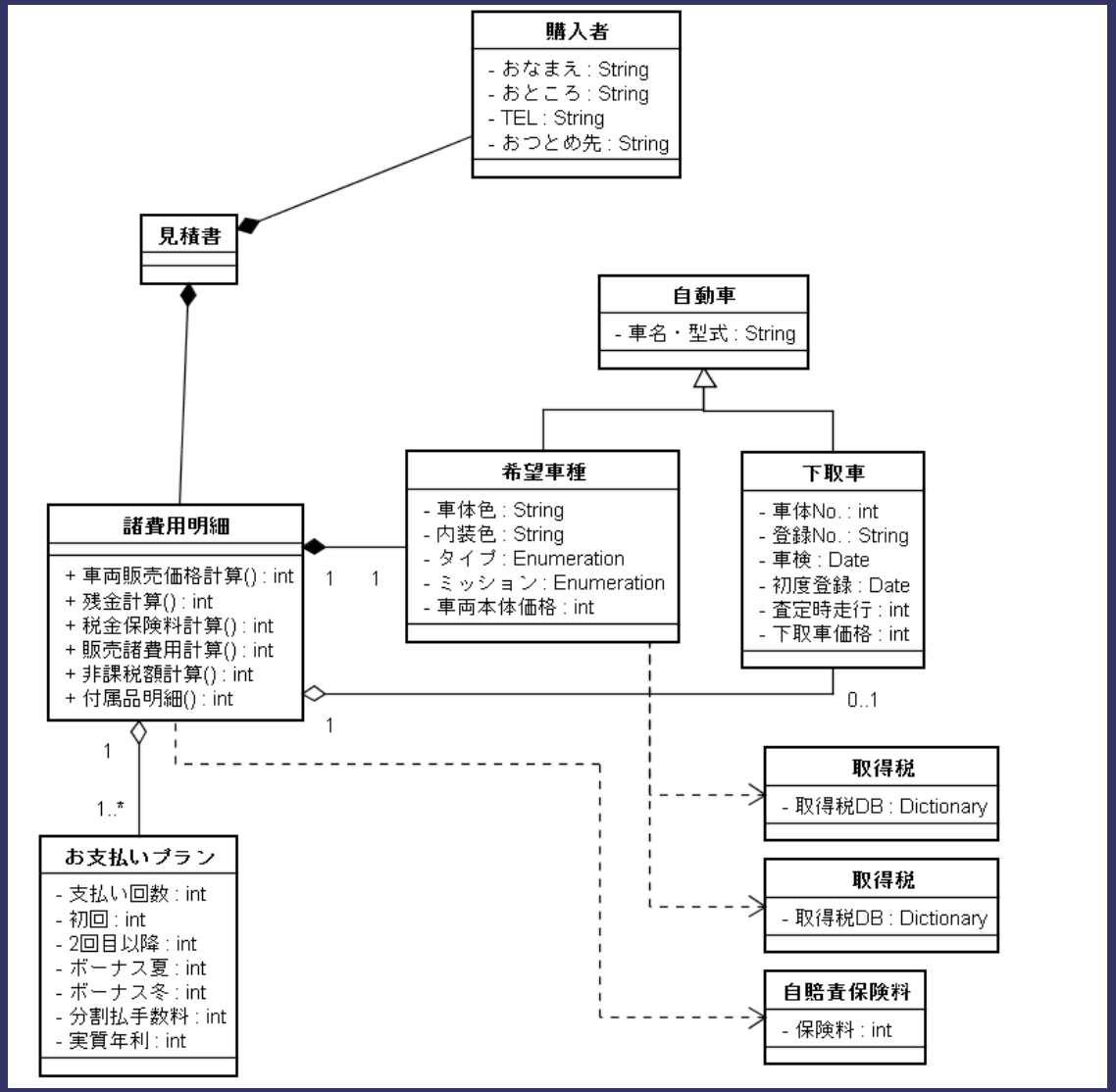
お支払総額 2,681,598円
安心で快適なカーライフのために自動車保険も弊社におまかせ下さい。
□加入済　満期日 月 日
□未加入 弊社で適切な保険プランをご提案いたします。

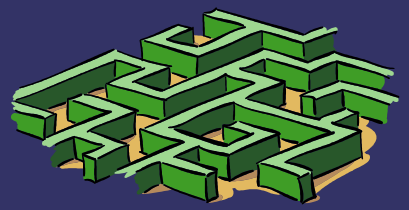
㈱ホンダカーズ東京中央
志村店
03-5970-7101 担当 G26
内 60053614 作成日 07.06.09 発行日 07.06.09

Hondaカード会員募集中!!
シートベルトを締めましょう。安全で快適なカーライフのために。



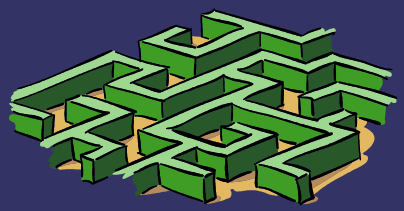
試行：これをモデル化する





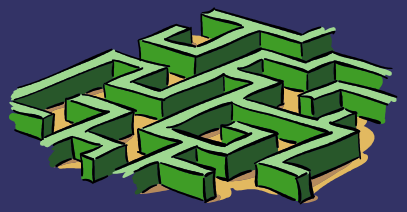
普通の人にこれが理解できる？

- 一生懸命仕事しているみたいに見える
- でも何が足りないかはUMLに通じていないと分からない

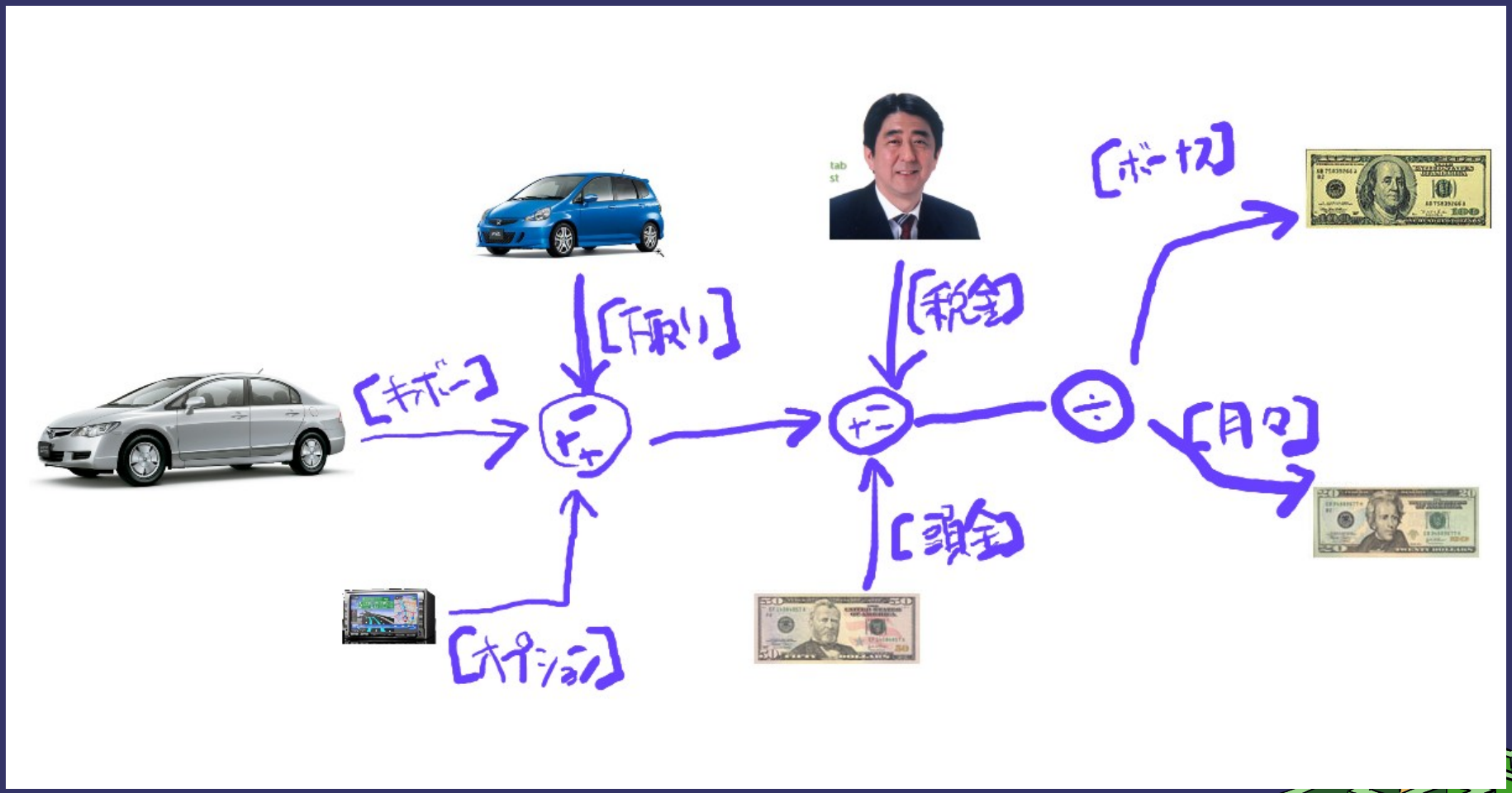


でもね、でもね

- 営業の人は構成要素がどうなるかなんてそこまで気にしてない
- お客様が欲しい情報は、トータルいくらになるのか、月々の支払いはいくらか？

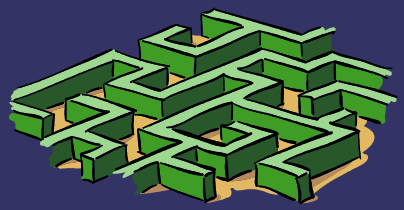


お金に着目したフロー



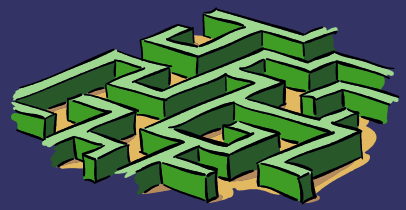
ユーザは何を見ているか？

- 目に見えるリソースのフローならばユーザと議論できる
- まずは扱うリソースのインプットとアウトプットを確定・共有する



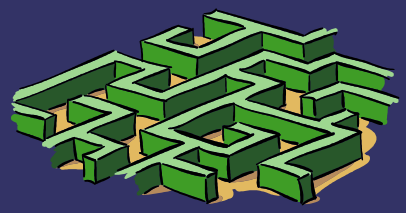
フローとして書くべきもの

- 各種リソース
  - 情報、お金、製品、書類など
- リソースの入出力
- リソースの交差するポイント



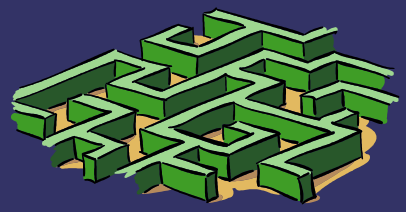
フローとして書くべきでないもの

- リソースに関係ない活動
- 単なる中継ポイント
- フロー自体の改善プロセス
  - 複雑になるので
- システムの境界、シナリオはその後で決める



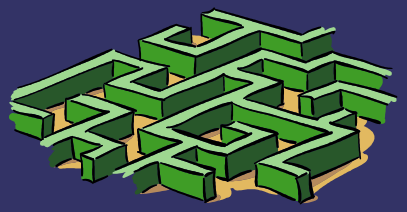
悪い例

- リソースに新しい価値を追加したりしないものは排除する



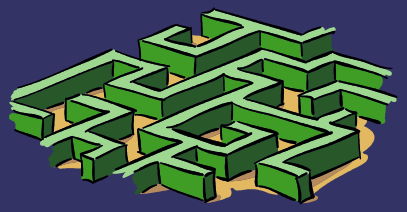
いったんまとめ

- まずはリソースフローを書こう
- システムの範囲などは書かない
- 余計なものを排除する
  - ビジネスモデルの
    リファクタリング

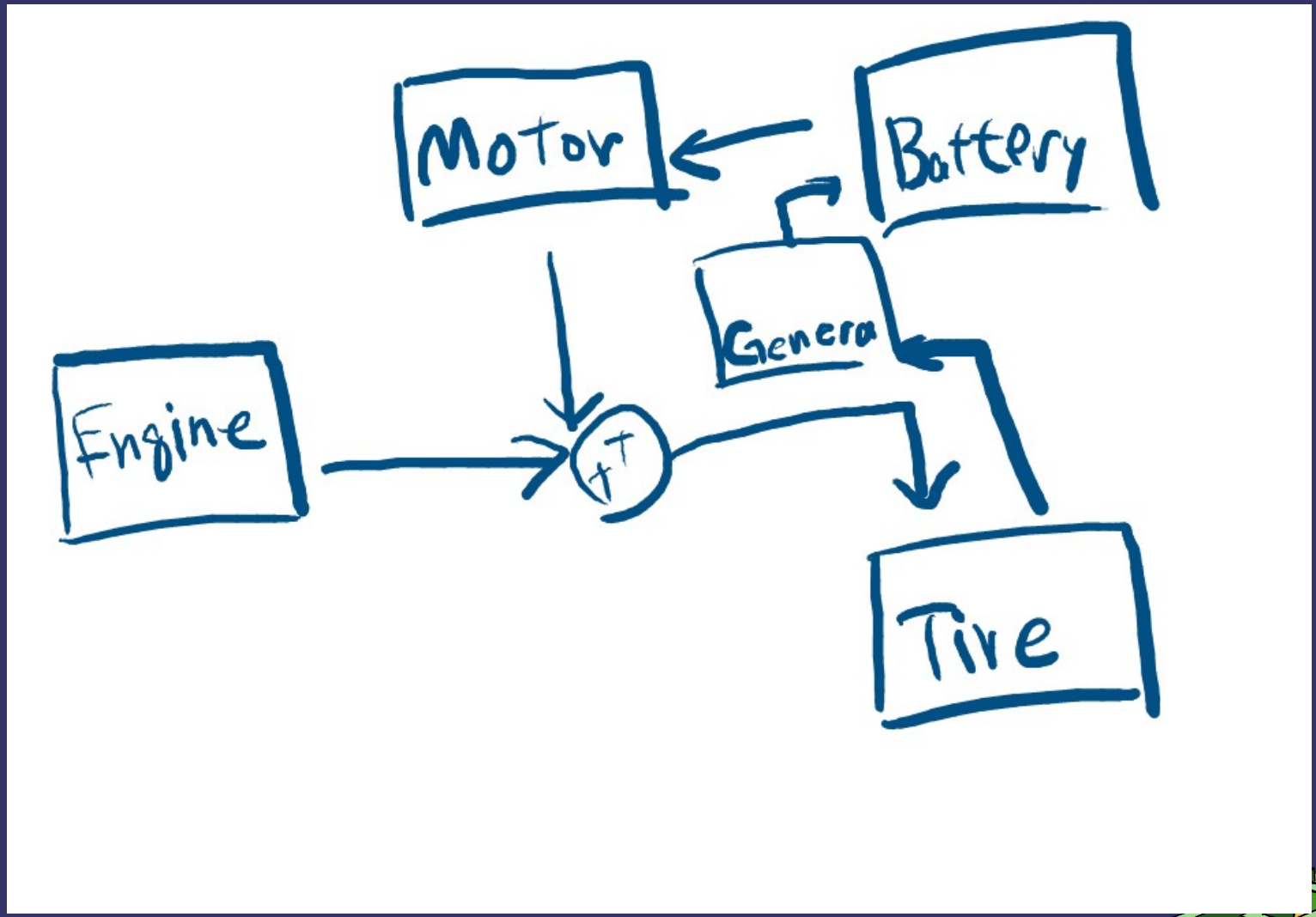


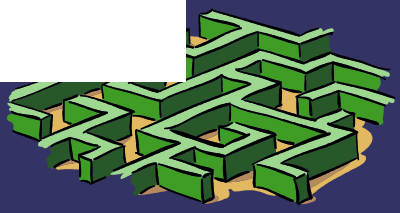
システム化に向けて

- 扱う情報が分ったあとに、システム化する部分、しない部分、責任区分などを分けていく

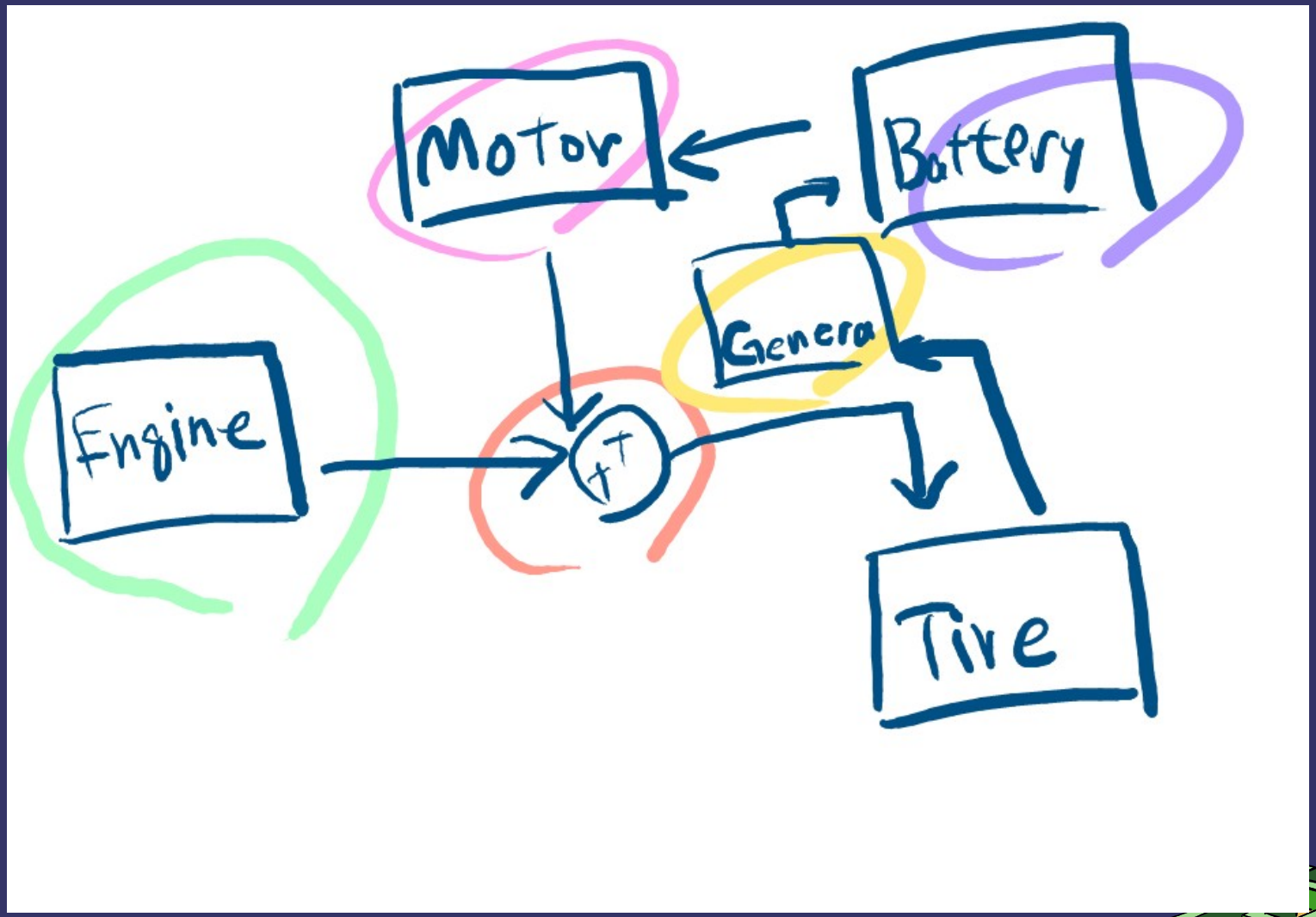


例：ハイブリッドシステム

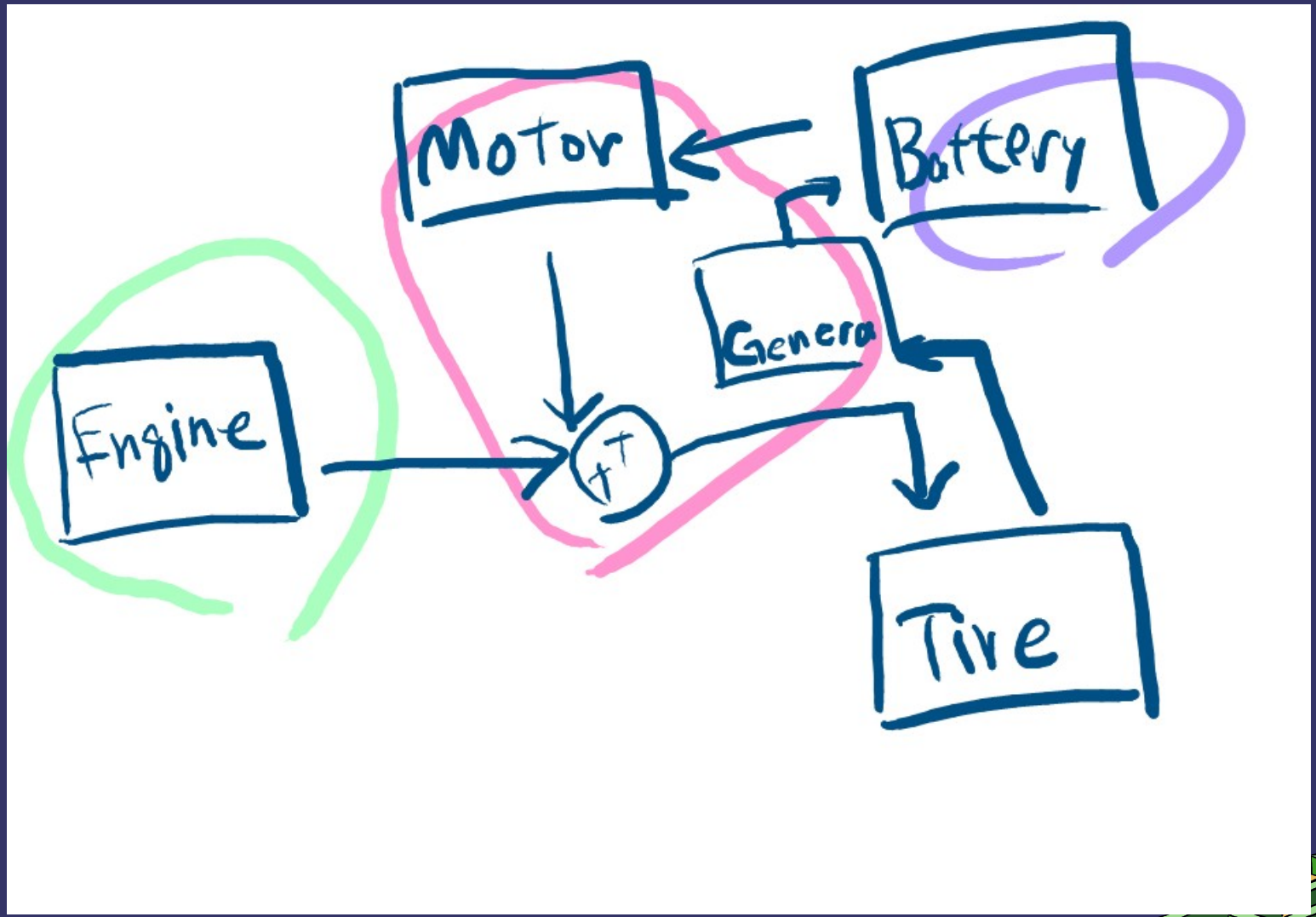




例：ハイブリッドシステム(*THS*)

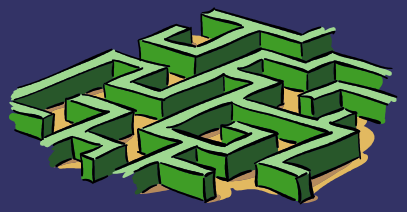


例：ハイブリッドシステム(IMA)



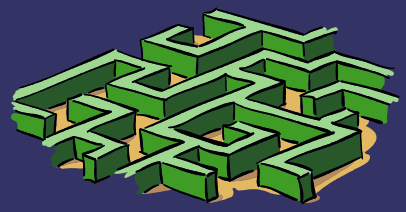
まとめ

- UMLを書くのはシステムを作るのとほぼベクトルの作業
- シナリオなどを書く前に、リソースのフローを書くべし
- 余計なものは書かない



*UML*に期待するもの

- 八方美人しなくていいから
  - MDAとか
- もっとコードに寄ってきてほしい。コードの可視化とか。



いいわけ

- 情報のフローのビジュアル化の記法も考えてました。
- 急遽、リソース全般に考え方を拡大したので書き方はまだ適当です